

①病院概要、②神経内科の特徴、③スタッフ

① 病院概要

東京医療センターは国立病院機構の基幹病院であり、三次救急医療機関として東京都世田谷区・目黒区の中核病院です。所在地は駒沢オリンピック公園に隣接しており、慶應義塾大学病院からは北西へ約 10km の距離にあります。救命救急センターを有する地域中核医療機関であり、多くの急性期疾患に対応しています。内科専門研修、初期研修には若手の医師が地域（大学、出身地）を超えて研修プログラムに参加して切磋琢磨しています。幅広い診療科がそろっており、多くの分野の研修指定施設にもなっています。そのため、さまざまな疾患の診療を経験することができる状況にあります。神経学会の教育施設、一次脳卒中センター（PSC）、脳卒中学会臨床教育施設でもあります。

② 脳神経内科の特徴

当院では神経救急疾患から変性疾患までかたよることなくさまざまな疾患への対応ができます。多くの診療科を有する病院の脳神経内科であるため、純粋な神経疾患にとどまらず、多彩な背景を持つ疾病の診療を他の診療科と協力しつつ積極的に行っています。入院の対象疾患は急性期疾患／神経救急疾患（脳血管障害、てんかん、神経免疫疾患など）が多い傾向にはありますが、疾患の種類、症状も多彩です。慶應義塾大学神経内科学教室との連携で、脳神経内科医かつ血管内治療を独力でできる医師を養成する「脳血管内治療フェローシップ」を担う病院としての体制を整えています。

③スタッフ

2023 年度の脳神経内科の構成メンバーは 4 名（神経専門医 3 名）です。診療責任者である科長 1 名、医師（常勤） 2 名、レジデント（内科専攻医） 1 名です。

安富 大祐（科長）：神経疾患一般

久富木原 健二：神経免疫疾患（特に多発性硬化症、NMOSD）、神経疾患一般

雪野 満：神経一般、脳血管障害（脳梗塞）

おのおののメンバーは脳血管疾患、神経免疫疾患、変性疾患などの専門・得意とする分野を有し、協力・連携して診療を行います。実診療は専門領域に限らずに担当することにしていきます。神経内科医としての経歴もおのおの異なり、大学病院で研修した者、神経専門病院で研鑽を積んだ者、他の急性期病院でも研鑽を積んだ者など、各自の経歴で得た経験を集約して診療に携わっています。そのほかにローテーションで他の内科系専攻医と研修医が交代で参加してきます。現在は専従の女性常勤医師がたまたまおりませんが、以前から常勤医師、レジデントに女性医師は長年在籍したこともあり、病院としても女性医師に活躍してもらえる環境を備えています。